

山寺通信

鶏谷山花栄寺だより

今号の記事:

- 特集:お墓
- 彼岸会のこと
- 春季彼岸会のお知らせ

特集:お墓

「お墓」。その響きから何を連想しますか。先祖代々のお墓、肝試しの会場、懐かしいふるさとの墓、死後収まる場所、一緒に入るのはイヤだ(!) などなど、お墓にまつわるイメージはいろいろあると思います。そのお墓が、時代の波の中で変わりつつあります。当山も例外ではありません。合同供養塔とペット墓について花栄寺の展望を記しました。

1: 合同供養墓建立検討中

過疎化と少子高齢化とがダブルパンチとなって地方都市とその辺縁の農村地帯に問題を突きつけています。いたる所で若手が別居して子どもがいない、家の後継ぎがないという声が聞かれます。とくに家の後継ぎがないことは、これまでの生活を一変させる様々な話題を含んでいます。先祖伝来の土地と家をどうするか、イエと個人との間合いの取り方に戸惑いを感じる、移り住んだ地域での人間関係の悩み、お寺との付き合いの変化などなどは、皆かつて当たり前であったことが実生活にそぐわなくなってきたことから生じてくるといえるでしょう。

お墓についても、今までの在り方では掬いきれないケースが増えつつあります。ひとつは後継者がいないことから、家でお墓を管理することが難しくなってきたという事例です。婚家先の理解を得ながらなんとか実家のお墓を守っているが、それは自分が元気でいられるうちの話、と考^{すく}えておられる方は少なくありません。

もうひとつは個人の尊厳という立場から、今までにない流れが生まれてきたことです。従来の「家の墓」に入るのではなく、自分自身やご夫婦だけの「納骨場所」を求める方が増えているのです。



森の中の合同供養墓イメージ図

このような世の中や人々の考えの移り変わりに対し、すでに多くのお寺では合同供養墓を建立し対応を始めています。モニュメントをしつらえ周囲に納骨庫を巡らし骨箱ごと安置したり、そのモニュメントの地下に散骨合祀するためのスペースを設けたりと、それぞれのお寺で工夫をしています。

当山でもこの件について検討を始めました。上の写真は観音さまの立像を森の中に据えた合同供養墓のイメージ図です。今後、設置場所、規模、運営方法などさらに検討を重ねてまいります。

2: ペット観音

前記の合同供養塔に先立ってペット墓の建立を計画しております。以前飼育していたゴールデンレトリバーのユウちゃんを供養するため、当山東堂慧明が供養の施主となり観音様の小ぶりの御像を中心にしたお墓を建立いたします。場所は、庫裡北側の削土している場所付近を候補地としています。完成後は野田が見渡せる花栄寺の新名所になるかと思えます。こちらにも納骨・散骨両方の対応が可能ですので、利用希望される方はお寺にご一報ください。

※本稿の内容ご興味をお持ちの方はぜひお寺にご連絡ください。またお知合い、御親戚ご希望の方がありましたら、お声掛けくださいますようお願いいたします。

彼岸会のこと

少しずつ春の足音が聞こえてきました。古人は暑さ寒さが一段落つくお彼岸の季節を選び、中日を挟んだ一週間を心の修養に充てました。彼岸とは「かの岸」のことで、私たちが生活する此の岸（しがん）の向こう側、つまり悟りの世界です。この岸は迷いや苦しみに満ちている世界ですが、六つの徳目を修行することで彼岸に渡ることができるといわれてきました。その徳目とは布施・持戒(じかい)・忍辱(にんにく)・精進・禅定・智慧完成の六つで、合わせて六波羅蜜（ろくはらみつ）といいます。



裏山で遊ぶ子供たち

布施は自分の力を他に分け与えること。とくに、優しい言葉がけや笑顔など、だれでもできる布施を心がけたいものです。持戒は欲望に負けず正しい生活を送ること。欲望は誰にでもあるものですし、それなくして人は生きられるものではありません。しかし制御不能の状態では困ります。欲望に染まらず、家庭や職場、地域を明るくしてゆきたいものです。忍辱は辱めを

春季彼岸会のお知らせ

お彼岸の中日に法要を厳修いたします。今年には六波羅蜜のひとつ、禅定をリラックスしながら体験して参りたいと思います。講師に上越市在住のヨーガインストラクター・岩崎なぎささんをお迎えいたします。男女、年齢問わず、お誘い合わせぜひお参りにおいで下さい。

期日：3月21日（金）

時間：午前10時からヨーガ

午前11時から法要

法要後、おとしき

涅槃団子入りの飴袋をさしあげます。

堪え忍ぶことです。ソチ五輪の後記者会見した浅田真央選手は、森喜朗氏の心ない言葉を見事にかわしました。精進は、今あげた三つを倦まずたゆまず続けてゆくことです。禅定は、本来は身と心と息とを調え到達する精神状態ですが、上記の精進を積み重ねて精神が安定するのも同じことです。そして、以上の修行を完成することがすなわち仏の智慧を完成するということ



浅田真央似？お寺のお雛様



観音様は雪の下

成を目指してゆきたいと念じるのです。そのとき、彼岸というのはどこか別の或る場所に在るのではなく、まさに今息づくこの時この場、此岸（しがん）がすなわち彼岸（ひがん）であったことに納得し、落ち着いた日常生活の支えとなることでしょう。

岩崎なぎささんプロフィール



- ・一般社団法人日本ヨーガ療法学会認定ヨーガ療法士
- ・日本ヨーガ療法学会会員
- ・全米ヨガ・アライアンス200時間インストラクターコース終了
- ・インド政府認定ヨーガ インストラクターコース終了
- ・＜ボストン・トラウマ・センター＞トラウマ・センシティブ・ヨーガ特別講習終了
- ・インターナショナル・ヨーガ・センター アシュタンガ・ヨーガ初級指導者
- ・乳がん患者さん向けヨーガセラピー指導者

©2013, Joetsu-Yoga, Ltd. All Rights Reserved.